

[認知症対応型共同生活介護用]

# 1. 調査報告概要表

作成日 2008年11月12日

## 【評価実施概要】

事業所番号	〃0175000538
法人名	社会福祉法人 北見有愛会
事業所名	グループホーム ゆう&あい 向陽
所在地	北海道北見市美芳町1丁目8番地4号 (電話) 0157-23-4141

評価機関名	(有)NAVIRE
所在地	北見市本町5丁目2-38
訪問調査日	平成20年11月4日

## 【情報提供票より】(20年10月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 4 月 7 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	13 人	常勤	12 人, 非常勤 1 人, 常勤換算 6.1人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り		
	4 階建ての	2 階 ~	3 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	18,000 円	その他の経費(月額)	20,000~26,000 円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,300 円		

### (4) 利用者の概要(10月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	1 名	女性	17 名
要介護1	2 名	要介護2	6 名		
要介護3	6 名	要介護4	2 名		
要介護5	2 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86.2 歳	最低	71 歳	最高	99 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	為山堂医院 ・ 塩田内科医院 ・ 玉越病院 ・ 若原歯科医院
---------	--------------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームゆう&あい向陽は既存の社員寮を利用した鉄筋コンクリート造りの4階建ての2階と3階がホームになっています。隣接して系列のケアハウスとデイサービスがあり、デイサービスへ遊びに行く利用者もおり、楽しい時間を過ごしています。又、ケアハウスと合同の行事(焼き肉)があり、家族・地域の方も参加し交流を図っています。居間などスペースの不便な箇所がありますが、家庭的な雰囲気の中で居心地よく過ごせる工夫をしています。理念の冒頭に“絆”を掲げ、職員は利用者・家族・地域との関係を大切に、いつも楽しく笑って過ごせる環境づくりに努めています。介護度の高い利用者もいますが、協力医と連携を取りながら利用者・家族の立場に立ったケアを心がけ実践しています。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	運営推進会議を活かした取り組みについては外部評価後に会議を開催しています。災害対策については運営推進会議を活用し、地域住民へ働きかけをしながら協力・連絡体制を確保し、避難訓練を実施しています。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	理念を基に自己評価を職員全員で取り組み、管理者がひとつにまとめています。職員は評価のねらいや意義を深め、サービスの質の向上に繋げています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は地域包括支援センター職員・地域代表・利用者・家族・ホーム代表などのメンバーで構成されています。会議はおおむね2ヶ月に1度開催され、利用者の状況・事務報告等を行っています。会議を活用し、地域との繋がりを強化しながら運営に結びつけています。認知症・感染症について地域の方と一緒に学習会を検討しています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	苦情箱を設置していますが、実際の利用はなく、管理者・職員は家族の訪問時に声かけ・面談をするなどし、思いや不安を聞き取るように心がけています。母体のお便りの他に、11月よりホーム便り(向陽通信)を発行し、ホームを理解してもらえる工夫をしています。重度化については利用者・家族の不安等を理解し思いに添えるよう努めています。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会に加入し、総会に参加したり運営推進会議の中で理解と協力が得られるように取り組んでいます。ホームの行事(焼き肉・菊まつり見学・クリスマス等)には、地域の方々がボランティアとして参加していただくなど地域との交流に努めています。中学生の見学学習の受け入れをしており利用者は一緒に遊んだり、お話をしたりと楽しい時間を過ごしています。

(有)NAVIRE

## 2. 調査報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	母体の理念の他に、地域密着型サービスとして事業所独自の理念「心と心の絆を大切に・その人がその人らしく、笑顔のあふれる生活を支援します・喜怒哀楽を共に、支えあう関係を築きます・地域に根ざした開かれたグループホームを目指します・利用者、家族、地域の方々との関係を大切にします」を掲げています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	会議の中で話し合い理解を深め、理念を念頭においたケアを実践しています。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、総会に参加したり散歩時には積極的に挨拶するよう心がけています。救急救命を地域の方と一緒に受講したり、地域との繋がりを大切に考え、双方の関係づくりに取り組んでいます。		
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	理念を基に自己評価を全職員で取り組み、評価のねらいや意義を深め管理者がまとめています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	おおむね2ヶ月に1度の開催をし、理念について状況報告、災害対策の協力体制などについて話し合っています。メンバーからの意見・要望を受け、双方向な会議となり、サービス向上に繋げています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	市の福祉課・生活保護課とは必要に応じ相談し、連絡を密に取り、サービスの質の向上に努めています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	家族の訪問時に健康状態や金銭管理について報告しています。又、職員の異動、行事の連絡、利用者の状態変化時など必要に応じて報告をしています。11月より向陽通信を発行し、生活の様子やエピソードを伝えています。		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	家族との会話を大切に考え、面談時に相談事などを聞くように心がけています。内部・外部に苦情・相談窓口を提示しています。		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	離職や異動があった際は利用者へのダメージを最小限に抑えられるように配慮し、引き継ぎなどがスムーズにいくように工夫しています。各ユニットの職員を固定化し馴染みの職員によるケアを心がけています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	段階に応じた外部研修や全体会議の中で、定期的に学習会を行っています。参考資料の観覧や報告を行い、情報の共有化を図っています。母体で介護職の養成講座を実施しています。		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	系列のグループホームとの交流や勉強会を行っています。管理者は包括支援やセンター主催の研修会などで他ホームの職員と意見交換・情報交換をしています。職員の横の繋がりを強化するために、他ホーム職員との交流を予定しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に馴染みの関係を築くように家族や利用者と十分話し合い、見学をしてもらい安心感を持ってサービス利用となっています。より良いケアが出来るようにその都度家族と相談しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者と生活する中で、利用者の生活歴や知恵から学ぶ場面を大切にしています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式の活用や利用者との会話や表情などを参考に、思いや意向の把握に努めています。困難な場合は家族から情報を得て支援しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員の担当制を取っており、1ヶ月に1度のケース会議で話し合い、利用者・家族の希望や意見を取り入れ、利用者本位の介護計画を作成しています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月ごとの見直しを行うとともに職員の記録やケース会議を参考に、利用者の状態に応じ現状に即した計画を作成しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者・家族の状況に応じて通院や送迎等に必要な支援は柔軟に対応しています。隣接したデイサービスへ通う利用者もあり、個々の満足を高めるよう努めています。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者・家族の意向に添った医療機関への受診となっています。職員が同行した時には情報提供をし、連携を図っています。又、協力医の往診や訪問看護師により健康管理がされています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	早い段階から重度化や終末期について関係機関と連携し、方針を共有しています。本人の意思を尊重し、ホームでの最期を希望される場合は訪問看護事業所との協力体制を整えています。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員採用時は個人情報保護・法令遵守について意識付けを行っています。常に利用者の誇りやプライバシーを損ねない対応の徹底を図っています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活ペースに合わせ、銀行へ行ったり、テレビ鑑賞や家族との外泊など、希望に添えるよう職員間で連携しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の状態を大切に捉え、楽しい雰囲気作りに配慮し、それぞれのペースで食事が摂られています。又、準備と茶碗拭きやお盆拭きなど、利用者の力を活かせるよう支援しています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には週2回となっていますが、体調や状況に応じて本人の希望に添った入浴になっています。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	本人の希望や生活歴を活かして、掃除や食事の後片付けなどの役割や、歌を歌ったり貼り絵・折紙などを行い、日々の暮らしが楽しみや張り合いのあるものになるよう努めています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買い物・畑の手入れなど、その日の状態に合わせて支援しています。隣接するデイサービスに行き、ゲームや利用者との会話を楽しんでいます。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員の見守り体制を徹底し、日中は鍵を掛けずに自由な生活を支援しています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署と連携をとり避難訓練を実施しています。マニュアルの見直しや救急救命も受講しています。地域の方に依頼し、緊急連絡網を整備しています。今後も地域住民が参加の避難訓練を予定しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分・食事摂取量は記録が取られ、利用者の状態を把握しています。一人ひとりの状態に合わせてミキサー食等で摂取しやすい工夫をしています。食事摂取量が不足している利用者には医師の指示のもと、栄養ドリンクや好みの物で対応しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節を感じる行事を行ったり、装飾を施したり、狭い空間も生活感を感じさせる工夫をしています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッド・タンス・椅子以外にも本人が使っていた馴染みの物が持ち込まれ、居心地よく安心して過ごせるような配慮をしています。		